取組

の柱

## 事業内容② 医療介護従事者向け研修

医療介護従事者がACPについて理解し、意思決定支援を行えるようになる

令和5年10月13日 第1回ACP推進部会資料

### ◎ ACPを理解し、意思決定支援をする医療介護従事者

日々の意思決定支援の中で、本人の最終段階に向けた意思決定支援を行うことができるようになること。また、終末期に向けた意思決定支援として、家族との調整や倫理的な課題にも適切に対処できるようになること。

- ・医療介護従事者へACP、終末期における意思決定支援についての基礎的な事項の啓発(理解促進)
- ・積極的な治療や介護を希望しないこと等、倫理的な課題についても多職種で連携し、対応していくことができる地域の資源の養成**(連携体制** の強化)
- ・ACPとは話し合いの場を設けることで完結するものではなく、医療・ケアについて考え、価値観を共有するプロセスであることを踏まえ、進行中のケアプランと切れ目なく意思決定支援することができるようになること(**支援力の向上)**

	研修内容				
	事前聴講動画	リアルタイム講義			
令和 2年度	○ACPの基礎知識について 法的な視点や倫理的観点等6つのポイントからACPについて紹介	○事例紹介 ・認知症のある方の事例(在宅医の立場から) ・病院内における、医療提供者の方針と本人や家族の意向が沿わない場合の 事例(病院医師の立場から)			
令和3年度	○ACPの基礎知識について 「わたしの思い手帳」で取り上げる5つの事例から、意思形成支援 /意思表明支援/意思実現支援について学びを深める ○新型コロナをはじめとした急性期疾患に備えて	<ul><li>○事例紹介</li><li>・入退院を繰り返しながら自宅で最期まで過ごすことを望む方の事例</li><li>(訪問看護師の立場から)</li><li>・認知症ではあるが住み慣れた自宅で暮らし続けたい方の事例</li><li>(地域包括支援センターの立場から)</li><li>○パネルディスカッション</li></ul>			
令和 4年度	OACPについて 〜ACPの始め方、進め方〜	○パターナリズムとACP ○病院医師が取り組む院内でのACP推進 ○自治体が取り組む地域でのACP推進 ○パネルディスカッション			

#### ※各年度のアンケートにて、各研修科目について「参考になった」と答えた受講者の割合

	事前聴講動画	リアルタイム講義	パネルディスカッション
令和2年度	98%	98%	-
令和3年度	96%	92%	93%
令和4年度	87%	84%	81%

### 令和5年度ACP推進事業 医療介護従事者向け研修について

## ○ 事例発表・パネルディスカッション (案) (令和6年2月7日(水曜日)開催予定)

	担当	時間	方向性・狙い	
R2〜4 事前聴講動画とリアル タイム講義動画のアーカイブ配信	_		過年度の動画から、ACPの基礎を学ぶ。	
事例発表① 特養や老人ホームにおけるACPの事例(仮題)	社会福祉法人 弥生会 林様	15分		
事例発表② 若年がん患者に対する ACPの事例(仮題)	川﨑委員	15分	取組としての正解を横展開していくものではなく、あくまで 現在取り組んでいる一例として発表。 取組の考え方やそこから見えてくる課題を共有する。	
事例発表③ 地域包括支援センター におけるACPの成功事例(仮題)	葛原委員から のご紹介	15分		
パネルディスカッション	全員	40 <del>分</del>	事例発表に基づいてディスカッションを行う。 同じ事例について様々な立場の専門家の意見を聞くことで、 ACPについての理解を深める。	

### 令和5年度ACP推進事業 医療介護従事者向け研修について

# ○ グループワーク (案) (令和6年3月3日(日曜日)開催予定)

	時間	方向性・狙い	
全体説明	10分		
事例検討① 若年がん患者に対するACP事例	35分	事例発表・パネルディスカッションでご発表いただいた2事例について意見交換を行い、	
発表(3分×4グループ+総括3分)	15分	対象患者に対するACPを様々な視点から検討することで、ACPに関する視野を広げる。	
事例検討② 地域包括支援センターにおけるACP の成功事例	35分	《各事例検討ごとに論点を2つ程度設定》  ・ 自分が対象患者の支援者の立場だったら、他にどのような行動が考えられたか。 事例のなかで、困難と思われた点はあるか。  ・ パネルディスカッションの内容から、論点をひとつ抽出	
発表(3分×4グループ+総括3分)	15分	・ ハヤルノイスカックコンのドッロカッパ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
自身の職場でACPを行うにあたって ①困ったこと・大変だったこと、 ②成功したこと	30分	参加者の今後の職場での取り組みに活かせるよう、自身の経験をグループ内 共有し、他の専門職と意見交換する。	
発表(3分×4グループ+総括3分)	15分		
総括(委員の皆様から一言ずつ)	15分		

- グループ分け:多職種
- ファシリテーター:委員の先生方にファシリテーターとして参加していただく
- ・ 想定人数(最大):5名×12グループ=60名